

モーツァルト室内管弦楽団 第186回定期演奏会

昭和の香り豊かな懐かしのクラシック名曲集をたっぷり！

〈懐かしのクラシック〉Ⅳ

《軽騎兵》序曲●スッペ
《ハンガリー舞曲》第1・4・5・6番●ブラームス
《スラヴ舞曲》第10番●ドヴォルザーク
《新世界交響曲》第2楽章●ドヴォルザーク
《フィンランディア》●シベリウス
円舞曲《ウィーンの森の物語》★●ヨハン・シュトラウス
円舞曲《金と銀》●レハール
《ペルシャの市場にて》●ケテルビー
《アンダンテ・カンタービレ》●チャイコフスキー
《花のワルツ》くるみ割り人形より●チャイコフスキー
《愛の挨拶》●エルガー
行進曲《威風堂々》第1番●エルガー



ツィター◆河野 直人★



2019.

指揮とお話◆門 良一

1/12(土) いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

2:00pm開演(1:30pm開場) 入場料：一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。


主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org>

協賛◆いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail:artists@gol.com

〒530-0041大阪市北区天神橋3-3-3南森町インカワビル507 URL:<http://www.oaa1985.com/>

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188  0570-02-9999(Pコード:129-663)

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:53247)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。



昭和の香り豊かな懐かしのクラシック名曲集をたっぷり！

モーツァルト室内管弦楽団は5、6年に一度の割合で「懐かしのクラシック」というタイトルのコンサートを行ってきた。昭和の時代に大変親しまれ、よく聴かれたが、今はあまりかえりみられなくなっている懐かしの名曲を盛り沢山にプログラムに載せてたっぷり楽しんでいただこうという趣向である。今回のプログラムでは、世界的なツィターの名手、河野直人氏をソリストに迎えて演奏するヨハン・シュトラウスのワルツ《ウィーンの森の物語》が特に注目される。ツィターは映画《第三の男》の主題歌を奏でるウィーンの民族楽器で、河野氏は親子二代にわたるこの楽器の名手である。その他、演奏会では滅多に聴けない懐かしの名曲を多数お贈りする。あまりなじみのない若い聴衆の方々にも親しんでもらえると信じている。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キューヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。2017年1月にNPO法人となる。

河野直人 ● ツィター *Naoto Kono, Zither*

父であり、世界的なツィター奏者河野保人にツィター、ヴァイオリン、ピアノ、作曲の手ほどきを受け、幼少時代はドイツ、ハイデルベルクで過ごす。1980年、再度渡欧、各国にてツィター音楽修行に励む。各地でのコンサート、ライブ活動は、各地の新聞紙上に掲載され、その才能、極めて美しい音色、繊細な感性、テクニック、音楽性、構成力を絶賛される。1992年には中国上海音楽学院に招かれ、当院のオーケストラと協演、「河野保人・河野直人で奏でるツィター演奏会」を開催。中国史上初めてツィターが鳴り響き多くの人々に感銘を与え日中文化交流を深める。東京渋谷「小劇場ジャンジャン」でのコンサートは20回を数えた。現在、ソロ活動の他、クラシック、ジャズ、ポップス、フォーク等様々なミュージシャンとのアルバム制作、コンサート、また人気テレビドラマ、映画のサウンドトラック、コマーシャル等の音楽制作にも多数参加。2006年5月にaoyama-recordsより「愛しのツィター」(AYR-003)、2007年4月にオーマガトキより「ツィターに恋して」(OMCA-1062)を全国リリース。2007年5月にハワイ・マウイ島でコンサートを行い、その際のライブ録音盤「On the Strings of Heaven」を全米にてリリース。ツィターの普及に努めている父の影響を受け継ぎ、楽器ツィターの新たな可能性を追求し新境地を開拓。天性とも言える多彩な音楽性を発揮しレパートリーも幅広く、現代的でシャープな感性の演奏スタイルは、多くのファンに将来を囁望されている。